

2019年度牧会サマーセミナー「高齢社会における牧会を考える」：発題者：堀肇（聖学院大学総合研究所牧会心理研究主催）

著者	藤掛 明
雑誌名	聖学院大学総合研究所Newsletter
巻	Vol.29
号	No.2
ページ	37-38
発行年	2019-10-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1477/00003760/

聖学院大学総合研究所 牧会心理研究主催
2019 年度 牧会サマーセミナー
「高齢社会における牧会を考える」
発題者：堀肇



講演者：堀肇先生

2019年9月9日(月)、第11回牧会サマーセミナーが開催された。前回(2018年)は10年目の区切りのセミナーであったが、今回は気持ちも新たに「高齢社会における牧会」というテーマで船出した。

この日は、天候が文字通り嵐の幕開けであった。台風被害の影響で交通機関が混乱し、9時30分開始予定のセミナーであったが、大幅に遅らせ、会場到着者の状況をみながら、10時35分に開始した。また、当日は、神学大学の学長の葬儀と重なったことも影響し、定員20名完全予約のところ、昼頃到着の人を含め、出席者は8名であった。

最初に司会者の挨拶の後、参加者の自己紹介が行われた。いつもプログラムは自由な雰囲気のもとで進められているが、この日は人数の影響で、とくにそうした傾向にあったと思う。

午前に行われる講演は、筆者(藤掛)の講演を割愛することで時間の帳尻を合わせ、メインの堀肇先生の講演については幸い時間の影響はほぼなく、じっくりとうかがうことができた。

講演では、冒頭で、教会に高齢化の波がいかに押し寄せているかについて統計的数字が紹介された。そして、高齢化に対する教会の対応が語られたが、それは高齢者がいかに教会に通えるかという具体的な観点で、①高齢者が教会に通える場合(家族の送迎、有志の送迎)、②身体的、距離的理

由で教会に通えない場合(牧師の訪問、家庭礼拝や個人礼拝、説教CDの利用など)、③近隣の教会に通う場合(紹介、転籍)などに分けて実情と可能性をうかがうことができた。

また、堀先生は、高齢期の人の発達課題や一般的なケアのあり方などについても解説されたが、筆者が一番印象に残っているのは、高齢者に対する霊的、社会的ケアについて述べられた点である。堀先生はガーキンの著作「牧会学入門」をベースに、「人生の儚さという意識」という言葉を使い、それへの牧会的ケアが必要であると述べられた。筆者は、人生の儚さが立ち現れる諸状況に向かい合うのが牧会であると考えているが、とりわけ高齢者のケアの場合、そうした視点は重要であると思われ、興味深く拝聴した。



司会・コーディネーター：藤掛明教授

昼休憩をはさみ、午後からは2つのグループに分かれグループ討議の時間をもった。このグループでの話し合いは2時間を使い、参加者が午前中の講演で引き出された思いや課題、また現に直面している困難な状況や事例を語り合い、分かち合うことを目指している。今回は「高齢社会における牧会」がテーマであり、そのことが中心になるのであるが、牧会者として他のテーマにも自然と話題が広がっていく。また不思議なものでグルー

づごとに話題は個性化する。内容については書けないが、どのグループでも切実な事柄が話され、その場で解決策を扱うことはないのだが、語り合いの中で新たな視点やヒントを得ているように思われた。

さて、その後全体で集まり、グループごとに語り合った内容を報告してもらい、全体でわちあった。筆者も一つのグループの進行を担当したのであるが、グループでの話し合いのときに、次第にリラックスし、自己開示する牧師先生方を見るにつけ、こうしたプログラムが有益であることを感じる。



コーディネーター：花野井百合子先生

最後に花野井百合子先生、筆者、堀肇先生と「まとめのコメント」を行い、セミナーは予定通り16時に終了した。開始が1時間すこし遅れたが、参加者にとっては、少人数の分だけ、いつも以上に濃密な時間を過ごすことができ、苦勞して参加した甲斐があったのではないかと思います。

(報告者：藤掛 明 [ふじかけ・あきら] 聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科教授、同大学院教授、同大学総合研究所牧会心理研究代表)

本

書籍のご案内

お近くの書店、Amazon.co.jpからお買い求めいただけます。

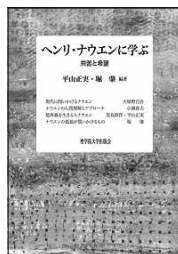
ヘンリ・ナウエンに学ぶ

—— 共苦と希望

平山正実・堀 肇 編著

2018年2月1日発行 (3刷)
2,000円 (税別)

人々の孤独を理解し、
共苦から希望へと導く
ナウエンのアプローチを学ぶ。



スピリチュアルケア研究

—— 基礎の構築から実践へ

窪寺俊之 著

2017年11月20日発行
4,800円 (税別)

臨床現場で直面する課題に
解答を見つけ出そうとする試みを
まとめた1冊。



シリーズ

<スピリチュアルケアを学ぶ>

窪寺俊之 編著

1・癒やしを求める魂の渇き

—— スピリチュアリティとは何か

2011年1月20日 1,800円 (税別)

2・スピリチュアルペインに向き合う

—— こころの安寧を求めて

2011年11月30日 2,200円 (税別)

3・スピリチュアルコミュニケーション

—— 生きる希望と尊厳を支える

2013年3月21日 2,200円 (税別)

4・スピリチュアルケアの実現に向けて

—— 「第18回日本臨床死生学会退会」の取り組み

2013年10月12日 2,300円 (税別)

5・愛に基づくスピリチュアルケア

—— 意味と関係の再構築を支える

2014年11月10日 2,300円 (税別)

6・スピリチュアルケアの心

—— いのちを育む力・委ねる力

2016年2月15日 2,300円 (税別)

7・スピリチュアルな存在として

—— 人間観・価値観の問い直し

2016年10月31日 2,300円 (税別)



聖学院大学出版会

TEL: 048-725-9801 FAX: 048-725-0324
URL: <https://www.seigyo.co.jp>